



The Young Researchers Association of the Japanese Society for Hygiene Newsletter

# 日本衛生学会若手研究者の会 秋の通信

## ▶ 夏の集い 2023 の報告

8月26日(土)に三重大学医学部キャンパス内で、日本衛生学会 若手研究者の会 夏の集い 2023 を三重大学医学部環境衛生学講座 講師 小林果先生と夏の集い委員会メンバーの運営により開催された。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がり、制限のない開催は4年ぶりとなり、現地23名+オンライン12名の合計35名が参加された。

本セミナーでは、教育講演として平工 雄介 教授（福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学）に「環境因子による発がん と DNA 損傷：これまでの研究の歩み」のテーマでご講演頂き、環境衛生・産業衛生に精通した平工先生の研究活動をご紹介頂いた。

次に、若手研究者の発表として、滝澤 亮哉 先生（自治医科大学）、木村 栄輝 先生（福井大学）、長嶋 大地 先生（横浜薬科大学）丸山 紗季 先生（神戸女子大学）、瀬川 悠紀子 先生（大阪成蹊短期大学）、武田 美都里 先生（九州大学）、藤本 嵐 先生（京都大学）呂 兆卿 先生（京都大学）にご発表頂き、時間の都合上、各演者への質疑応答時間は限られていたが、活発な意見交換が行われ、休憩時間や懇親会を利用して相談する場面も見られた。

交流会では、毎年恒例の1分間自己紹介が開催され、今年は1分間の砂時計が運営委員会から準備された。発表者は砂時計を気にしながら、自己紹介を行う、プレゼン力も問われる面白い交流会となり盛会のうちに終えた。



## ▶ 第94回日本衛生学会学術総会の若手研究者の会企画について

鹿児島大学衛生学・健康増進医学 教授 堀内正久先生の運営による第94回日本衛生学会学術総会（2024年3月7日～9日）が開催されます。若手研究者の会は、学会1日目に企画1・2を下記の内容で開催します。衛生学エキスパートポイントの対象となっており、若手に限定は一切しておりません。学会員の皆様、是非、ご参加ください。

### ● 若手研究者の会企画1（2024年3月7日 木曜日、14:30-16:40）

「食品成分と衛生学—食品成分の機能を衛生学から探る—」

座長：鈴木武博（国立環境研究所）、栄徳勝光（高知大学）

#### 1. 北村祐貴（自治医科大学）

「岡山県産サルナシ果汁によるパーキンソン病モデルマウスへの効果と有効物質の探索」

#### 2. 武田美都里先生（九州大学）

「ヨーグルト摂取後の温泉入浴による腸内細菌叢への影響の検討」

#### 3. 森渚（医薬基盤・健康・栄養研究所）

「ポリフェノールの疫学研究について」

#### 4. 丸山紗季（神戸女子大学）・瀬川悠紀子（大阪成蹊短期大学）

「昆布及び昆布出汁の摂取がラットの血圧に及ぼす影響」

#### 5. 中下千尋（熊本県立大学）

「生活習慣病予防における食事パターンの活用」

#### 6. 堀中真野（京都府立医科大学）

「実践的がん予防を目指して～RB活性化果実飲料の開発～」

### ● 若手研究者の会企画2（2024年3月7日 木曜日、16:50-17:55）

座長：木戸尊将（東京慈恵会医科大学）

少人数のグループによる交流会を予定しております。また、交流会後は定期会合を行います。

### ● ポスターセッションにおいて（2024年3月8日～9日）

学術総会 2日目～3日目のポスターセッションにおいて、若手研究者有志の会から現在までの活動軌跡と若手研究者の会によるアンケート調査結果の2演台を発表しますので、是非、ご覧ください。

## ▶ 世話人紹介

本通信から現世話人の紹介をしていきます。今後は、新しく加わった世話人や元世話人の先生方などの紹介を行う予定でありますので、ご覧ください。

<p>東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 講師 木戸尊将</p>  <p>研究テーマ：免疫毒性学（栄養素・産業化学物質）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓亜鉛欠乏が腸管免疫機能に与える影響</li><li>✓亜鉛とワクチンの関係性の構築</li><li>✓次世代亜鉛欠乏モデルを用いた免疫的影響の解析</li><li>✓アクリル酸ポリマー曝露における肺疾患の機序解明</li></ul> <p>ひと言</p> <p>2016年から世話人を務めさせて頂いております。多くの大学院生や若手研究者がシンポジストとして発表できる機会を多く作れるように、活動していきたいと思っております。</p>	<p>三重大学大学院 医学系研究科 環境分子医学分野 講師 小林果<sup>はたす</sup></p> <p>研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・血管狭窄性疾患におけるRNF213遺伝子の役割</li><li>・化学物質による酸化的DNA損傷</li><li>・環境汚染物質と代謝遺伝子多型の関係</li></ul> <p>趣味 読書(マンガと小説)、映画、 銭湯・サウナめぐり、ボードゲーム</p> <p>ひと言</p> <p>若手の会が、参加者の交流の場となることをめざして企画・運営に参加しています。友人や知人、共同研究や相談相手づくりにつながればうれしいです。ぜひ一度総会企画や夏の集いにご参加ください。</p>
<p>京都大学医学研究科 環境衛生学分野 准教授 原田浩二</p>  <p>今の主な研究テーマ：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● PFASの曝露評価、ヒトバイオモニタリング</li><li>● ポリフェノールのバイオモニタリング</li><li>● インドネシアでの水銀曝露調査</li><li>● 環境汚染物質の化学分析法の開発</li></ul> <p>ひと言</p> <p>世話人会でウェブシステム整備、他学会連携などを担当しています。</p> <p>若手のつながりを学会内だけでなく、他学会にも広げる機会ができるようにと考えています。</p>	<p>国立環境研究所 環境リスク・健康領域 鈴木武博</p>  <p>研究テーマ：環境毒性学（化学物質、次世代影響）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓妊娠期ヒ素曝露による仔の肝腫瘍増加の機序解明</li><li>✓化学物質曝露と腸内細菌叢との関連</li><li>✓シークエンス解析技術を用いた次世代影響評価</li><li>✓化学物質による次世代影響の予測手法の開発</li></ul> <p>ひと言</p> <p>若手研究者の会発足当初から世話人となり、世話人代表も務めさせて頂きました。若手研究者の会は、学生や若手研究者とベテラン研究者をつなぐ役割もあると思っていますので、シンポジウムや懇親会などを通して、微力ながら、その役目に貢献していきたいと考えております。</p>

高知大学医学部  
環境医学教室  
講師 栄徳勝光



研究テーマ：小児保健・環境医学

- ✓肥満関連SNPと小児肥満との関連、環境因子との相互作用の解析
- ✓小児精神発達軌跡と関連因子の解析

趣味：フットサル、鹿児島弁

### ひと言

2016年から世話人となりましたが、お陰様で他の先生方と交流する機会が格段に増えました。学生や若手研究者が交流し一層輝ける場を用意する裏方ではありますが、得るものも多い仕事です。学会に行っても知り合いが少ないという方、是非世話人を経験してみませんか？

昭和大学医学部  
衛生学公衆衛生学講座  
講師 箕浦 明



研究テーマ：公衆衛生学・社会疫学

- ✓ COVID-19パンデミックによる健康格差の評価研究
- ✓ 医学研究者・医学研究の新たな評価軸の検討
- ✓ 労働者の口腔機能の評価と加齢の影響の検討

### ひと言

大学で柔道部の監督も務めている体育会系研究者です。観察研究がメインですが、興味関心のストライクゾーンは広めにとっているつもりですので、様々な専門分野の研究者と今後も交流させて頂ければと思います。

自治医科大学  
環境予防医学講座  
講師 北村祐貴



### 現在の研究

パーキンソン病やがん等の疾病に対するサルナシ果汁の予防法の開発  
ナノプラスチックがもたらす消化管での炎症反応への影響

### ひと言

2020年から世話人を務めています。若手研究者の会を多くの人に知ってもらい、気軽に参加できるような会にしていければと思います

熊本大学大学院生命科学研究部  
公衆衛生学講座  
准教授 盧溪（ルーシー）



研究テーマ：携帯電話&インターネット過剰使用、メンタルヘルス、化学物質過敏症、エコチル調査

- ✓妊娠中における携帯電話やインターネットの使用が、妊婦自身と新生児に与える影響の解析
- ✓化学物質過敏症とパーソナリティ、メンタルヘルスとの関係の解明

### ひと言

2018年から世話人を務めさせて頂いております。とても温かい雰囲気ので、多くの若手研究者と知り合う機会があり、非常に楽しく活動しております。ぜひ世話人を経験してみませんか？

## ※最後に

若手研究者の会への参加登録は随時募集しております。お知り合いの方でご興味がありそうな方がおられましたら、是非、ご連絡をお願いします。なお、若手の会に年齢制限は設けておりません！若手研究者・OB・OG・衛生学研究にご興味のある非会員の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

それでは、次回定期会合（2024年3月鹿児島県）でお会いしましょう！！

---

日本衛生学会若手研究者の会

[jsh-yra@nacos.com](mailto:jsh-yra@nacos.com)